東部いれこみ情報

学習情報紙
No.２７６
９月号

２０２４年(令和６年)９月１日
発行　東部地域振興課
住所　〒721-0915 福山市伊勢丘６−６−１
電話　940−2574　FAX 947−5658

カラーは　福山市東部地域振興課
ホームページで　検索・二次元コード

遊歩一景

福島ひまわり里親プロジェクト 今年も順調に花を咲かせました

▲東朋中学校の福島ひまわり
里親プロジェクトのひまわり

東日本大震災で被災した福島県の復興支援の輪を多くの人に繋げたい…との思いで始まった、東朋中学校の「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりは、今年度も順調に成長し花をつけました。

５月 15 日に、同校の TOHO LEADERS の生徒が、東部市民センターで植えたひまわりは、５ 月 20 日には芽を出し始め、７月第２週には、最初の一輪が咲き、以降次々と花を咲かせました。中には背丈が 170 ㎝近くあるものや、直径 20 ㎝を超える大輪もありました。

日中の暑い時間には蜜蜂も寄ってきて秋には多くの種が採取できそうです。

また、東部にある多くの交流館でも花壇や敷地に福島のひまわりを植えており、こちらも順調に成長し大きな花をつけました。

。来年も採取した種を植えていき、東朋中学校の皆さんと、福島の思いを継げていきたいと思います

他の写真⇒

TouTube・トーチューブ
手城川～川のせせらぎ夏から秋へ～

東部地域振興課では、生涯学習の成果を発表する機会などの一つとしてYouTubeのチャンネルを開設しています。

今回は、癒し（リラックス）の効果やストレス防止につながる効果があると言われている「川の流れる音」を収録し、手城川のせせらぎを配信します。

配信は９月 14 日（土）を予定しています。どうぞ、ご覧ください。

〈配信〉９月14日(土)9:00～

●動画サイト　YouTube
●チャンネル　TouTube.F
●問い合せ先　東部地域振興課
電話：084-940-2574
FAX：084-947-5658
メール：　↓　↓　↓
toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

桜坂ギャラリー 企画展
「浸水対策」
～災害に強いまちづくり～

●期間　**９月７日(土)**
～９月30日(月)
●場所　**東部市民センター　２階ロビー**

９月１日は「防災の日」です。自分や大切な人の命を守るためにも、一人ひとりが災害時の備えをしておくことが大切です。

地域や家庭でできる浸水対策について考えてみてはいかがでしょうか。

主催・問い合せ先　東部地域振興課
電話　０８４−９４０−２５７４
FAX　０８４−９４７−５６５８

「高めあう　人権感覚　確かな未来」

●●●　“地域をつなぐまちづくり”紹介　●●●

各地で夏祭りや盆踊り大会を開催

８月の第１週末頃を中心に、多くの学区で夏祭りや盆踊り大会が開催されました。

コロナウイルス感染症が第５類になってから２回目の夏、どこも盛大な催しとなりました。

大谷台学区では、やぐらを囲んで盆踊りが舞われました。また、地域のコーラスサークルや和太鼓のチームが日頃の練習の成果を発表しました。昨年度からキッチンカーによる出店を依頼するようになり、焼きそばなどのブースに長い行列ができました。

「大谷台学区　夏祭りの様子」

野々浜学区では、やぐらを囲んだ会場で盆踊りと各団体による模擬店の出店など、いわゆるコロナ禍前のスタイルが復活しました。また、踊りの合間には、打ち上げ花火やステージ発表の時間が設けられ、バトントワリングや和太鼓の演奏がありました。会場は、約1000人が浴衣や甚平姿などで訪れ、夏の風物詩を楽しみました。

「野々浜学区　打ち上げ花火の様子」

長浜学区では、普段から親交のあるサッカークラブ「福山シティーFC」の選手を招き、祭りの催しとして交流会を開催しました。

文化祭用のデジタルゲームを作製！　野々浜学区

今年の野々浜学区の文化祭では、地域の子ども達がプログラミングツール「Scratch」で作ったゲームやクイズに、スマホで参加する企画を実施予定です。

使用するプログラムは、昨年春日学区で実施した「デジタル版ウォークラリー」をベースにしており、野々浜ならではの情報をクイズや写真などで紹介できるよう工夫しています。

また、子ども達が考えたオリジナルのキャラクターなどもたくさん登場します。

子ども達の中には、初めてScratchでプログラムを作るという子もおり、難しいと感じながらも真剣に取り組んでいました。この体験を通じて、プログラミングの楽しさと自分のアイデアが形になる喜びを少しでも感じてもらえればと思います。

１０月２７日（日）の文化祭当日は、ぜひ会場の野々浜小学校でデジタルゲームに参加してみてください。

東部管内イベント・講座情報

春日コミュニティ館

雨でもあります

春日コミュニティ館まつり 2024

文化の違いを認め合う地域に！ ～出会い・気づき・ふれあい・交流しよう～

メインゲスト たそがれどんべえ

メンバーの還暦をきっかけに結成され今年で20年になります。当初は３人でしたが数年前メンバーの一人が離脱、その後二人のサポートメンバーが加わり現在は４人で活動されています。各地の交流館などで人権平和学習会のトーク＆ライブをはじめ古民家レストランやライブハウスで活動中のフォークバンドです。

9月21日(土)
9:30～12:30
春日コミュニティ館

春日コミュ利用サークルの
＊ステージ発表
＊飲食物の販売
＊作品などの展示　など

駐 車 場：緑丘小学校へとめてください。
　　自転車は春日コミュニティ館の駐輪場へとめてください。
主　　催：春日コミュニティ館まつり実行委員会
問い合せ：福山市春日コミュニティ館
　　電話：０８４－９４３－２５３１
　　住所：福山市春日町五丁目５番２２号

東部図書館からのお知らせ

展示「ヘルシー！うれしー！元気ごはん」

〖期間〗９月１８日（水）～１０月１４日（月）
※期間中、展示内容の入替あり
〖会場〗東部図書館　１階フロア
〖内容〗「第２１回ヘルシーメニューコンテスト」の投票と食に関するパネル展示

サロンコンサート

〖日時〗９月２４日（火）１４時～１４時３０分
〖会場〗東部市民センター　１階サロン
〖内容〗ハーモニカの演奏
〖出演〗杉本肇とイーストハーモニカサークル

あかちゃんといっしょのおはなし会

〖日時〗９月１３日（金）・２０日（金）
１１時～１１時２０分
〖会場〗東部図書館　２階集会室
〖内容〗０～３歳を対象とした絵本の読み聞かせ、手あそびなど

〖問い合わせ先〗
東部図書館 084-940-2575

特集「アンコンシャス・バイアス」について考える　その6

「よかれ」のつもりが慈悲的差別に

慈悲的差別とは、「弱者」と感じた人に対し本人に確認せず不要な配慮をすることを指します。「よかれ」と思った気遣いが、実は「ありがた迷惑」になることがあるのです。

ある集いでスポーツ交流を計画した時、参加者に障がいがある人がいました。競技参加は難しく思案していた所、本人から「コートサイドでのお喋りが楽しい」と言われ、ホッとしました。先走って別メニューでも準備していたら、返って恐縮されたかもしれず、早めに本人の気持ちが聞けてよかったです。

大切にしたいキーワード

30 年以上も前の講演会の話。「信号待ちの交差点や階段の前に障がいがある人が立っていたらどうしますか？」と問われ、「通り過ぎる？」「手助けする？」…。導びかれたキーワードは「ひと声かける」「そっと見守る」でした。障がいがある人の社会参加がまだ少なかった頃の話。「歩める道は自分で歩み…」を前提に社会の支えについて考え合いました。

現代、外国人市民が増え高齢者も労働力。心身に抱える物が多いと言われる社会。日々の困りごとは何かしらあるでしょう。「無慈悲な世の中」であってはならないと思います。それゆえ、大切にしたいキーワードは「ひと声かける」「そっと見守る」ではないでしょうか。

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「偏見」という意味で、私たちの社会に存在し、誰かの生き辛さにつながることがあります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集しています。

芦田川見る視る館で子ども教室を開催

７月２７日に芦田川に架かる大渡橋の近くにある、芦田川視る見る館（御幸町）で、「夏休み直前 !! 子ども教室」として絶滅危惧種のスイゲンゼニタナゴについて、講師の古本さんから色々な話を聞きました。

元々少ないスイゲンゼニタナゴが減っている理由の一つに、農作業に必要な機械の経費がかなりかかることで農業を継ぐ人が少ないことや、高齢化に伴い農業をやめる人が増えてきたことにより、田植えをしなくなったことや、水路がコンクリート化されたため、魚の産卵場所や住みかが減ってきているとの説明がありました。

参加者は、小学生だけでなく大学生や大人の参加も沢山ありました。

また、見る視る館に初めて来た人は、芦田川流域に生息している色々な魚の展示を興味深そうに見学されていました。

桜のささやき

８月８日に宮崎県で震度６弱の揺れを観測した地震で、気象庁は南海トラフ地震の想定震源域では大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて高まっているとして「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を出し、巨大地震への注意を呼びかけました。

この「南海トラフ地震臨時情報」を初めて聞いたという方も多いのではないでしょうか。福山市でもこの発表を受け、地震の発生に備えて、緊急避難場所や避難経路、家族との連絡手段を決めておくとともに、非常時持ち出し品を準備しておくなど、日ごろからの備えを再確認するよう呼びかけました。

地震があった翌日、近所のスーパーへ行くとペットボトルの水と無洗米が売り切れており、災害に対する備えへの関心がより高まっているように感じました。

福山市では、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度６強の揺れとなり、建物の全半壊約６万８千棟、死傷者は約１万２千人と甚大な被害が予測されています。

地震に限らず、これからは台風が多い時期にもなります。もしもの災害に備え、いついかなる時に災害が発生しても、私たち自身ができる防災を心がけ、備えておくことが大切です。